

会 議 録

会 議 名	2024 年度第 2 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	2025 年 3 月 7 日 (金) 午後 3 時から午後 4 時まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館 2 階 大会議室	
出 席 者	委員等	浅井真司氏 (委員長)、奥田英子氏 (副委員長)、太田真理子氏、大島聡子氏、畔上美千代氏、三浦美咲氏、鷹見みゆき氏、尾方悦子氏
	事務局	庄子教育長、横井教育部長、関生涯学習課長、植田生涯学習係長、長谷川主事 (株)図書館流通センター 島津図書館長、大西チーフ、平松サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 2024 年度「東浦町子ども読書活動推進計画 (第 4 次)」に係る実績書について (公開) 2 2024 年度子ども読書に関するアンケート結果について (公開) 3 その他 (公開)	
傍 聴 者 の 数	0 名	
審 議 内 容	◆教育部長 挨拶及び欠席者と会議の成立について報告を行う。 ◆教育長 (挨拶) ◆教育部長 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。 ◇委員長 次第に従い議事を進める。議題 1 「2024 年度東浦町子ども読書活動推進計画 (第 4 次)」に係る実績書について」を議題として、事務局からの説明を求める。 ◆事務局 資料 1 に基づき、各関連機関からの実績書内容について説明する。保育園、児童館・子育て支援センター、健康課、生涯学習課、中央図書館、学校の 順番に報告を行う。保育園、児童館・子育て支援センターの説明については、大島委員及び畔上委員へ報告を求める。	

◇委員

資料1に基づき、各保育園、児童館、子育て支援センターの実績報告を行う。

◆事務局

資料1に基づき、健康課、生涯学習課、中央図書館、小中学校の実績報告を行う。

◇委員長

事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。

【質疑なし】

◇委員長

議題1に関する質疑応答を締め切り、議題2「2024年度子ども読書に関するアンケート結果について」を議題として事務局へ説明を求める。

◆事務局

資料2-1、2-2に基づき、小学校3・4年生を対象として2024年11～12月に実施したアンケート結果について説明を行う。

◇委員長

事務局からの説明を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◆事務局（委員より事前に受けていた質疑について報告）

アンケート問11について、子どもたちの本の選書のポイントとして、「表紙やイラスト」を選択した回答が、「本の内容」と選択した回答に続いて2番目に多い。好きな作家やイラストレーターの挿絵が入った本のシリーズを読むような傾向もあると思うが、現在の子どもたちは、どのような作家、イラストレーターの作品が好きな傾向があるのか。子どもと関わりのある、保護者の方や保育園、児童館、学校の先生方からお聞きしたい。

◇委員

緒川小学校では、イラストレーター、絵本作家のヨシタケシンスケさんの絵本が子どもたちに人気である。

保育園ではフレーベル館出版のやなせたかし作、絵の『あんぱんまん』絵本シリーズが人気である。アンパンマンの丸い形が子どもたちに好かれる。貸出回数も多く、必然的に絵本の劣化も早い。

児童館では古い本と新しい本の両方があるため、子どもが自ら読みたい本を選択することが多いが、「本の絵柄の見た目」で選ぶ子どもが多い傾向にある。特に、女の子はキラキラした少女漫画のような挿絵の児童書を選ぶ傾向にある。男の子は、モンスターや恐竜のイラストが描

かれた作品や人気漫画アニメの絵のタッチと似たタイプの挿絵の本が人気である。

児童館の子どもたちへ素朴な雰囲気 of 絵柄の児童書を勧めてみたところ、つまらなさそうという理由でその本を選びたがらないこともあった。

昔ながらのモノクロの挿絵は、子どもたちにとっては、つまらなさそうという印象になってしまっているようだ。

最近出版された挿絵は、カラフルで子どもたちの目を惹くものが多く、好きな作家、イラストレーターで選ぶというよりも、自分の気に入った表紙や挿絵の雰囲気で本を選ぶ子どもが多い。

紙芝居も同様に、昔ながらの素朴な雰囲気 of 絵柄よりも、カラフルでキラキラした絵柄の作品の方が人気である。昔話の紙芝居の読み聞かせをした時も、同じお話の紙芝居が2種類あり、素朴な絵柄のものと、カラフルな絵柄のものがあったが、素朴な絵の作品よりも、原色に近いカラフルな作品の方が子どもたちの目を惹き、喜ばれた。

小学校4年生の息子は、好きなアニメキャラクターが登場する歴史マンガを借りてくることが多く、自分の好きなキャラクターをきっかけに、読む本を選んでいるように思う。保育園年長の娘は、『ぐりとぐら』のような絵や色がきれいな絵本を選ぶことが多い。

保育園にある人気本は、すぐに本の状態が悪くなって傷んでしまう。自分の子どもは、古い本よりも保護者の会が寄贈した新しい状態の本を積極的に手にとっている傾向がある。

昔ながらの絵のタッチの本に対して、怖い印象を持つことがあるようで、あまり手に取りたがらない様子がある。

読書することは、子どもにとってよいことであるため、保護者の会では、傷んだ絵本の修理を行っている。しかしながら、保護者の負担になっている部分もあるため、行政がそのことを知っていただけるとありがたい。

◆事務局

委員の皆様のそれぞれの立場からの報告により、現在の子どもがどのようなポイントで本を選んでいるのかという点について、共有する機会となった。

◇委員

本の表紙や挿絵について、昔ながらの素朴なデザインの本と、現代の視覚的に惹かれるデザインの本の2種類があると思うが、東浦町中央図書館で選書する場合は、どちらの本を選ぶのか。基準はあるのか。

◆事務局

東浦町中央図書館の選書基準に沿った選書を行うことが基本となる。

◆事務局

キラキラした視覚的に惹かれる絵柄の本は、流行り廃れの影響がある

ため、公共図書館の場合は、予算があれば購入したいというところであるが、積極的には購入しない傾向がある。しかしながら、決してキラキラした絵柄の本だから内容もふさわしくない本であるという訳でもない。例えば、住民から中央図書館へ寄贈のあったこちらの（現物を見せながら）『鏡の国のアリス』は、アニメのようなタッチで描かれたかわいい絵柄であるが、本の文章については、原書の文章に忠実であり、物語の世界観も壊されておらず、図書館で所蔵することにした。表紙や挿絵の絵柄の雰囲気のみにとらわれた選書は行っていない。

◇委員長

選書基準に沿って本が選ばれていることがわかった。子どもたちにとって、手に取りやすい傾向の本もあるため、子どもたちの声もぜひ参考にして選書いただけるとよい。

◇委員

資料2-1の5ページ（3）に関連するが、中央図書館の大型絵本の団体貸出について、現在は何冊まで借りられるのか。

◆事務局

団体貸出の場合、5冊まで借りられるよう検討中である。大型絵本の団体貸出は、3冊を上限としていたが、所蔵する大型本が増えたことや、ボランティア団体等の読み聞かせ活動で役立てて欲しいことから貸出可能冊数を増やす予定である。

◇委員

5冊まで借りられるのは、読み聞かせボランティアとしても嬉しい。ぜひ活用したい。

◇委員長

議題2について質疑を締め切り、議題3「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

議題3は特にないことを報告する。

◇委員長

他の意見がないことを確認し、議事の終了を宣言する。

◆事務局

事務連絡として、2点の連絡を行う。

【連絡1】

委員の任期については、2025年5月末までであることを報告。可能な方には引き続き来年度以降も委員を務めていただきたい旨を依頼。

【連絡2】

機構改革により、東浦町中央図書館の所管課である生涯学習課は教育委員会 教育部から首長部局へ移管し、ふくし文化部 学び支援課へ変更になることを報告。

挨拶をして会議の終了を宣言する。